

登録コード	HM128900	開講年度	2026				
授業題目	病態解析診断学論文演習					担当教員	上原 剛 他
英文授業名	Thesis Seminar in Laboratory Medicine					副担当	岩谷 舞
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初, 2024HM医学分野初, 2023HM医学分野初						
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能				⇔	医学データベースを用いて優れた医学論文を検索する能力を身につけ、適切な論文を読み、プレゼンテーションする能力を身につける。	
(2)詳細 /Detailed information	医学データベースを用いて優れた医学論文を検索する能力を身につけ、適切な論文を読み、プレゼンテーションする能力を身につける。						
(3)授業の概要 /Overview of course	1. 研究の社会的意義, 2. 研究概論, 3. 文献の読み方, 4. 研究方法論, 5. データ処理方法, 6. 論文の書き方, 7. 英文論文の書き方, 8. 機器取り扱い実習, などについて学ぶ。						
(4)授業計画 /Course plan	(上原剛) 抄読会形式で自己免疫性膵炎やIgG4関連硬化性唾液腺炎などのIgG4関連疾患に関する論文を批判的に読む能力を身につけ、またそれらを要約し、わかりやすくプレゼンする能力を習得する。 (岩谷舞) 抄読会形式で肺癌などの肺疾患や子宮頸癌などの婦人科疾患に関する論文を批判的に読む能力を身につけ、またそれらを要約し、わかりやすくプレゼンする能力を習得する。						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	レポート評価 (i) 問題の設定が適切であり, (ii) その問題の背景を説明できており, (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している(秀)」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある(優)」。4項目までできていれば「やや上にある(良)」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。						
(6)履修上の注意 ・事前事後学習 の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/ Reference work(s)	特になし						
(7)質問,相談への 対応/Questions and requests for advice	随時可						
(8)授業の形式 /Course format	座学						